

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 30 年 6 月 19 日現在

機関番号：22604

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2014～2017

課題番号：26285132

研究課題名(和文)生活保護受給世帯における子どもの進路選択に関する研究 フォローアップ調査を通じて

研究課題名(英文)A Study on Children of Families Receiving Public Assistance and Career Selection: Based on a Follow-up Surveys

研究代表者

岡部 卓 (OKABE, TAKU)

首都大学東京・人文科学研究科・教授

研究者番号：40274998

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 7,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究の研究成果は、以下2とおりである。第1に、当事者調査の実施・分析である。本研究事業では、首都圏都市部・郡部で生活保護制度を利用する有子世帯の養育者、子どもへのインタビュー調査(2014年度、2015年度のフォローアップ調査)を実施している。この調査をつうじて、(1)養育者の直面する課題(経済的困難、心身の疾病等)、及び(2)子どもが直面する課題(学力面での課題、進路選択の制約等)を明らかにしている。第2に、政策動向を検討している。例えば、生活保護法の改正、生活困窮者自立支援法のレビューや、子どもの貧困対策の批判的検討を行っている。

研究成果の概要(英文)：The outcome of our study was as below. First, we conducted the interview survey of the family receiving Public Assistance (SEIKATSUHOGO) in the urban area and the suburbs in Tokyo metropolitan area. We found out that there were the issues faced by the parents: economic difficulties, mental and physical disease, and that there were the issues faced by their children: lower academic achievement, constraints in the career-path selection. Second, we reviewed the trend of social policy in Japan: Acts related to Public Assistance and Act To Accelerate Policies For Disadvantaged Kids.

研究分野：社会福祉学

キーワード：貧困 生活保護 子ども 進路選択

1. 研究開始当初の背景

経済・雇用環境の変化は、国民・住民の経済的基盤を揺るがし、貧困と格差の拡大・深化をもたらしている。それに伴い貧困世帯の子どもがまた貧困に陥る貧困の世代間継承(再生産)が社会問題化している。

古くは、Bourdieu, Passeron (1964 = 1997) \ Lewis (1959 = 1970) \ Wilson, (1985 = 1999) や 籠山 (1984) の研究が、近年では、阿部 (2008) \ 浅井・松本・湯澤 (2008) や、Oshio, Sano and Kobayashi (2010) \ 阿部 (2011) \ 内閣府 (2012) \ 労働政策研究・研修機構 (2012) 等があり、養育環境・学習環境が十分整っていない貧困状態に置かれている子ども自身も将来的に貧困状態に陥る可能性が高いこと 貧困の世代間連鎖(再生産)が生じていることが明らかにされてきている。

また、貧困対策の主要制度である生活保護を受給する世帯においても世代間連鎖(再生産)が生じていることが指摘されている(青木 2003; 駒村・道中・丸山 2011; 労働政策研究・研修機構 2012)。

以上のような状況に対し、受給世帯内での世代間連鎖(再生産)防止に向けた国・自治体の取り組み(厚生労働省、東京都江戸川区、東京都板橋区、北海道釧路市、神奈川県、埼玉県等)の広がりが見られる。また、「なくそう!子どもの貧困全国ネットワーク」の活動や、高等学校の授業料無償化(2010年)、「子どもの貧困対策法」の制定(2013年議員立法)などの運動が展開されてきている。しかしながら、社会福祉領域(とりわけ貧困・低所得者領域)において、生活保護受給世帯内において「なぜ」、「どのようにして」貧困の世代間継承(再生産)が生じているのかに着目した研究は不十分である。特に、子どもの「進路選択」(進学・就労への移行)と生活保護制度の仕組み(世帯認定、収入認定、保護費による給付の有無等)との関連に着目した研究はほとんどない。

2. 研究の目的

以上を踏まえ、本研究では以下2点の研究目的を設定する。第1に、生活保護受給世帯における子どもの進路選択の実態を明らかにすることである【目的1】当事者調査。具体的には、生活保護受給世帯の養育者・子どもがどのような生活実態にあり、どのような課題に直面しているか; またこれらの実態や課題は子どもの年齢によってどのように変化しているのか; さらに、子どもはどのような進路選択(進級/進学/就労への移行)を行っているかを明らかにする。

以上の研究を通し、「なぜ」、「どのようにして」子どもが特定の進路選択(安定した/不安定な、就学/就労/生活)に至ったのかを明らかにする。

第2に、以上の研究を行うための補助線として、制度・政策動向の把握を行う【目的2】、

具体的には、国・地方自治体の動向把握、海外の動向把握、以上である。

3. 研究の方法

上記の研究目的を究明するにあたり、本研究では、以下の方法を採用した。

(1)「当事者調査」

当事者調査では、Z県(郡部) X県 Y市(都市部)の2地域の生活保護受給世帯の養育者、ならびに、子どもを対象にした2年間のインタビュー調査(追跡調査)を実施した。

なお、当初、2016年度にも当事者調査を実施する予定であった。しかしながら、2014年度調査・2015年度調査で長時間・多様な回答を得られたため、2016年度調査は延期(中止)し、調査結果の整理・分析に時間を充てることにした。

また、申請時には、可能であれば支援者に対するインタビュー調査を実施する考えであったが、上記同様の理由から当事者調査のみに専念することにした。

(2)文献サーベイ

生活保護制度・生活困窮者自立支援制度等において、貧困再生産(貧困の世代間継承)を解消するためにどのような対応がとられているのか、行政資料・文献研究を行なった。

なお、当初は海外の動向把握を予定していたが、日本国内での動向(生活保護法改正、生活困窮者自立支援法、子どもの貧困対策の推進)把握を中心に行なった。

4. 研究成果

(1)「当事者調査」

当事者調査としては、2014年度と2015年度に調査を実施した。

まず、Z県郡部では、過去の研究事業の調査協力者のうち2014年度に8世帯9名(養育者9名、子ども1名)、2015年度に7世帯11名(養育者7名、子ども4名;1世帯辞退)にインタビュー調査を実施した。

次いで、X県 Y市では、2014年度に11世帯11名(すべて養育者)、2015年度に10世帯14名(養育者12名、子ども2名;4世帯辞退・3世帯新規で協力)にインタビュー調査を実施した。

以上の調査を通じて、利用世帯の養育者・子どもの成育暦、子どもの学校生活、進路選択、現実の移行実態などを明らかにしている。

(2)「制度・政策動向」

制度・政策動向としては、生活保護法、生活困窮者自立支援法の改正・施行状況を検討している。以上に加えて、子どもの貧困対策の実施状況を批判的に検討している。とりわけ、子どもの貧困対策に関しては、貧困対策としての再分配よりも、教育対策に偏重して

いることを明らかにしている。

<引用文献>

- ・阿部彩(2008)「子どもの貧困 日本の不公平を考える」岩波書店。
- ・阿部彩(2011)「子ども期の貧困が成人後の生活困難(デプリベーション)に与える影響の分析」国立社会保障・人口問題研究所『季刊社会保障研究』46(4), 354-367.
- ・青木紀編著(2003)「現代日本の『見えない』貧困 生活保護受給母子世帯の現実」明石書店。
- ・浅井春夫・松本伊智朗・湯澤直美編(2008)「子どもの貧困 子ども時代のしあわせ平等のために」明石書店。
- ・Bourdieu, P., Passeron, J.C. (1964). *Les Héritiers: les étudiants et la culture*. Les Editions de Minuit. (=1997, 石井洋二郎監訳「遺産相続者たち 学生と文化」藤原書店.)
- ・Conger, K J., Martin, M J., Reeb, B T., Little, W M., Craine, J L., Shebloski, B. and Conger, R D. (2012). *Economic Hardship and its Consequences across Generations*. In Maholmes, Valerie., King, Rosalind B. (Eds.), *The Oxford Handbook of Poverty and Child Development*. (pp. 37-53). Oxford University Press, Inc.
- ・Duncan, Greg J., Brooks-Gunn, Jeanne. (1997). *Consequences of Growing Up Poor*. Russell Sage Foundation.
- ・籠山京(1984)「籠山京著作集 第6巻 貧困児の教育」ドメス出版。
- ・駒村康平・道中隆・丸山桂(2011)「被保護母子世帯における貧困の世代間連鎖と生活上の問題」『三田学会誌』, 103(4), 51-77.
- ・Lewis, O. (1959). *Five Families: Mexican Case Studies in the Culture of Poverty*. Basic Books Inc. (=1970, 高山智博訳「貧困の文化 五つの家族」新潮社.)
- ・内閣府(2012)「親と子の生活意識に関する調査報告書」内閣府 子ども若者・子育て施策総合推進室。
- ・岡部卓・小林理・西村貴之(2014)「平成25年度 科学研究費補助金・基盤研究(B), 課題番号 23330178, 生活保護受給世帯の学習・進学に関する研究 研究報告書」。
- ・Oshio, T., Sano, S. and Kobayashi, M. (2010). *Child Poverty as a Determinant of Life Outcomes: Evidence from Nationwide Survey in Japan*. *Social Indicator Research*, 99(1), 81-99.
- ・労働政策研究・研修機構(2012)「子どものいる世帯の生活状況および養育者の就業に関する調査」独立行政法人労働政策研究・研修機構。
- ・Wilson, W J. (1985). *The Truly*

Disadvantaged: The Inner City, the Underclass, and Public Policy. The University of Chicago. (=1999, 青木秀男監訳・平川 茂・牛草英晴訳「アメリカのアンダークラス 本当に不利な立場に置かれた人々」明石書店.)

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計11件)

西村貴之(2017)「子どもの貧困に抗する多職種連携型支援 チーム学校に関する予備的考察」民主教育研究所『人間と教育』No. 95, 56-63.(査読なし)

・鈴木忠義(2017)「社会福祉政策における『居場所』概念の検討 - 『厚生白書』・『厚生労働白書』を通して - 」『部落問題研究』222, pp.26-45.(査読なし)

久保木匡介・鈴木忠義・石坂誠(2017)「地方都市の貧困問題 - 生活相談ケース記録を通して - (1)」『長野大学紀要』39(2), pp.1-12.(査読なし)

松本一郎(2017)「ナショナルミニマム保障の構築と見直しの政策過程 ~1990年代までの生活保護に関わる諮問機関等の検討を中心として~」, 日本大学経済科学研究所『紀要』47-2.(査読なし)

岡部卓(2017)「生活保護受給者の『声』 - 生活保護受給世帯における稼働年齢層の実態調査を通して - 」『人文学報』512-4 社会福祉学 33.(査読なし) 1

小林理・谷口幸一・菅野和恵・妻鹿ふみ子・阿部正昭・児玉千代子・田中美加(2016)「(研究短報)「学校」をベースとした子ども家庭支援の実践に関する国際比較研究 - スリランカ国コロポ市近郊における初等中等学校で展開されているスクールソーシャルワークの活動を手がかりに - 」『健康科学部紀要』21号, 東海大学健康科学部.(査読なし)

西村貴直(2016)「書評 貧困理論の再検討 - 相対的貧困から社会的排除へ」『社会福祉研究第127号』(査読なし)

西村貴直(2016)「紀要論文「子どもの貧困」問題の再検討」『関東学院大学人文学会紀要第135号』(査読なし)

鈴木忠義(2015)「生活保護関連予算について - 生活保護基準『見直し』の問題点 - 」『季刊福祉労働』第147号、現代書館、pp.50-59(査読なし)

鈴木忠義(2015)「2000年以降における福祉課題の諸相 - 『行旅死亡人』を通して - 」『部落問題研究』213、公益社団法人部落問題研究所、pp.135-149(査読なし)

西村貴直(2015)「貧困の政治における 他

者化 ～概念とプロセス～」『関東学院大学人文学会紀要第 132 号』(査読なし)

[学会発表](計 12 件)

鈴木忠義(2017)「子どもの貧困対策における『居場所づくり』の意義と課題」『日本福祉教育・ボランティア学習学会第 23 回全国大会・特別課題研究』(長野大学, 2017 年 12 月 2 日)

小林理, 新保 幸男, 根本 嘉昭, 山崎 美貴子, (2017) 口頭発表「社会的養護における専門職の育ちと専門性の指標化 - A 県施設・機関職員への実態調査結果を中心に - 」『日本社会福祉学会 第 65 回秋季大会』首都大学東京, 2017 年 10 月 22 日.

西村貴之(2017)「フィンランドにおける社会的排除のリスクをもつ子どもに対する教育的支援」『日本国際教育学会第 28 回研究大会』(福岡女学院大学, 2017 年 9 月 2 日).

西村貴直(2017)「貧困の政治における他者化 - 『子どもの貧困』を手がかりに」『第 107 回・社会政策研究ネットワーク (SPSN) 研究会』(日本女子大学目白キャンパス, 2017 年 7 月 8 日)

小林理, 新保幸男(2017)口頭発表「社会的養護における人材育成等の課題に対する研究-A 県施設・機関職員への実態調査結果を中心に-」『日本子ども家庭福祉学会第 18 回大会』関西福祉科学大学, 2017 年 6 月 4 日.

岡部卓(2017)「路上対策の構図 社会福祉と暴力」社会福祉学会・関東部会 明治学院大.

岡部卓(2016)「変革する力 力量あるソーシャルワーカーへの途」(座長)70 周年シンポジウム『社大福祉フォーラム 2016』日本社会事業大学学内学会.

菅野和恵・小林理・宮永耕・児玉千代子・谷口幸一(2016)(口頭報告)「南アジア・スリランカ国における支援ニーズのある子どもたちへのスクールソーシャルワークに関する研究」『学部特別研究報告会』東海大学健康科学部.

西村貴之(2016)自由研究発表「アンケート調査の結果からみる今日の通信制高校教育の現状と課題」日本社会教育学会第 63 回研究大会@弘前大学.

三宅雄大・岡部卓・小林理(2015)口頭報告)「生活保護受給有子世帯の養育者にとってのソーシャルワーカー - A 県 B 市におけるインタビュー調査を通じて」『日本社会福祉学会 第 63 回秋季大会』久留米大学.

西村貴之(2015)「生活保護受給有子世帯の子どもの就学・進学に関する現状と課題 - A 県における生活保護受給有子世帯に関

わる関係機関調査の分析を中心に」日本社会教育学会、第 62 回大会(東京・首都大学東京).

小林理、岡部卓、三宅雄大(2014)「生活保護受給有子世帯における子ども支援の課題 - 生活保護ワーカー調査から子ども支援の現状と課題を中心に - 」『日本社会福祉学会 62 回秋季大会』早稲田大学.

[図書](計 5 件)

岡部卓・長友祐三・池谷秀登(編著)(2017)『生活保護ソーシャルワークはいまより良い実践を目指して』ミネルヴァ書房.
新保幸男, 小林理(編著)(2017)『家庭支援論 第 2 版』中央法規
新保幸男, 小林理(編著)(2017)『児童家庭福祉 第 2 版』中央法規
岡部卓編(2017)『生活困窮者自立支援ハンドブック』(改訂版)中央法規出版.
岡部卓(2014)『新版 福祉事務所 ソーシャルワーカー必携 生活保護における社会福祉実践』社会福祉法人 全国社会福祉協議会.

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
出願年月日:
国内外の別:

取得状況(計 0 件)

名称:
発明者:
権利者:
種類:
番号:
取得年月日:
国内外の別:

[その他]
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡部 卓 (OKABE, Taku)

首都大学東京・人文科学研究科・教授

研究者番号: 40274998

(2) 研究分担者

小林 理 (KOBAYASHI, Osamu)

東海大学・健康学部・准教授
研究者番号：80338764

西村 貴之 (NISHIMURA, Takayuki)
北翔大学・生涯スポーツ学部・准教授
研究者番号：60533263

鈴木 忠義 (SUZUKI, Tadayoshi)
長野大学・社会福祉学部・教授
研究者番号：60440195

西村 貴直 (NISHIMURA, Takanao)
関東学院大学・社会学部・准教授
研究者番号：10389512

松本 一郎 (Matsumoto, Ichiro)
大正大学・人間学部・専任講師
研究者番号：30459961

(3)連携研究者

()

研究者番号：

(4)研究協力者

三浦 元 (MIURA, Gen)

三宅 雄大 (MIYAKE, Yudai)